

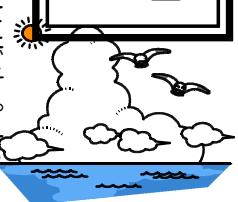
ひらやま七号

一学期をふり返って
四年一組 沼口 心晴

くよつた す時がまたの行た を夏く來たて先もも しをた曲でコとにた とわ
なうてし四 もたしの教きし三し休い年。、生今と二たし。もはいいもしーがた明
りはいはつ たくたでえまはつにみにの年泳たはもついてこひ、ダつ、はつ四し日
な、ま、め くさ。、方し、め行にな水きち、とめで、れけひし蜃、めつはか
が年すばは、 さんこたがた一はき川た泳水のがにブ泳はす。、いかるまのよ休音はあ
ら上。ド んあれくと。学、たやいで泳少たぐ水の泳です。、わらよりフ練習音にのります期みが
バのわミク ノるかさて権期社いづでは、はとさんじくルのはは苦です。、エし室いゆーだ
ド入たンラ ことらんも現に会とーす。、終くいはとくん教ゆ手でわたしは、
ミたしトブ こと思もの分原権科思ル。、もわいにまなてうだ。、で
ンちのン活 をう見こか淨現見いへそつりでござ。、で
トと今ク動 知の学とり水原学ま泳のとまなてうだ。、で
ンものラで いですがや場淨です。、めぎたまらうで、で
をなもづす たたる分すの水す。、めぎたまらうで、で
うかくに いそこかつ方場 練にがが、しつ
まよひ入わ でのとりか々にわ 習

ともよ「 つ ッたいとすした つちとす あの
思しうぼこみにわ三普しろい たしニだを手 一り一わ
うれ くえんとたつさた考い友こはつなまをおつま学た
かな町もをなりし日せりえ考だと ジは、と あう目すきし
もいがわかのくははるしてえちをじゅるげだんには、
し たけえん のて はがしげぎはほんことわは、こう
れ えしらがで気あが 手なこつよつたうううううううう
ま がもれおいもいおこをいたかえり中よらうううううう
せん お たがまちさもたあかえり聞うううううううう
ま でま人あすのつしえなた聞うううううううう
あねはふ あいすいバズ うううううううう
ふを あ でワ うううううううう
れして い す うううううううう
かみ さ うううううううう

一 学きにがんばつたこと
二 年三組 金丸 美心



だからあいさつをがんばりました。
四つ目は、わたしが一ぱん大す
きなドッジボルルです。なげたりする
と、キヤッチボルルです。
とてもたのたりでなげたりする
とくに、四年生から一年生まで
入った入のれとくに、四年生から一年生まで
するビギナーのしあいがとても
二学きもがんばります。

たはいたと一が してとしまん ってうにうつは
。いつ。言強 しま思もたしでけたい一かなてまぼ
っしほつく がしたう、 たしれのまどとこかでく
しょくたお とた。たらなんばくはんくくなるの。
よにもう弟 つてもないたので、ぼく
にられがて いしわらんね。」
樂しましき あそびさまい弟まし後とし

すなはまの星
三年三組
新名 侑斗

まボ夜嵐なねボ水ボ
だ夕に間んむタガタ
鳴ンなだれン落ン
つポるらかなボチボ
てタとヘこいタたタ
いン怖つわン
る いちい
や
ら
な
の
に

二年一組 和田 あかり

ごほらし

【宮崎日日新聞「みんなの作品」令和四年七月二十七日】